



主体的・対話的で深い学びから探究活動へ ～リテコンを活用した3つの資質・能力の育成～

日本大学商学部 教授
岸本 徹也

1. はじめに

令和4年度から実施されることになった高等学校学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」や「探究活動」の推進が求められている。

本稿では、大学生が企画・運営を行うリテールマーケティング・コンテスト（以下、リテコン）が、高校生の主体的・対話的で深い学びや探究活動を推進し、学習指導要領が目指す3つの資質・能力を如何に育むかについて、その経緯を明らかにしながら、成果と今後の可能性について論じる。

2. リテコンの歩み～リテコンの成果～

リテコンの歩みは、埼玉県立浦和商业高等学校の内田靖校長との出会いまで遡る。平成31年度（令和元年度）に浦和商业高校に着任された内田校長は、商業高校生の学びが会計やビジネス情報分野の学習に偏り、商業の体系的・系統的な学びが進められていないことに危惧の念を抱いており、マーケティング教育により商業科目の体系化・系統化を模索していた。

一方、私が主宰する日本大学商学部のゼミナールでは、高校生へのマーケティングに関する学びの支援を通じて、大学生の企画力や課題発見能力、実行力などを養成する教育に取り組んでいた。私は、その教育の一つの方法として、大学生が企画・運営し、高校生が参加するクイズ大会であるリテコンの腹案を練っていた。

私がリテコンの話の内田校長に持ち掛けたところ、令和3年度に埼玉県で開催される第31回全国産業教育フェア埼玉大会（さんフェア埼玉2021）において実施する運びとなった。

(1) リテコン埼玉県練習大会の実施

まずは、埼玉県内の商業高校生の参加を募ったリテコンのテストケースとして練習大会を実施し、検証の知見を得ることとした。

以下は、リテコン埼玉県練習大会の概要である。

【リテコン埼玉県練習大会の概要】

1 開催目的

- (1) 商業教育におけるマーケティングやマネジメント分野の強化
- (2) 相手の話や文を整理して理解し、自分の考えを筋道立ててわかりやすく説明・記述する「論理力」の育成

2 日時

令和2年11月6日（金）16時～17時

3 開催方法

- (1) テレビ会議システム「Zoom」によるオンライン形式
- (2) 学校混合によるチーム編成

【出場校一覧】

大宮商業高校、八潮南高校、浦和商业高校、鳩山高校、熊谷商業高校、鴻巣高校、幸手桜高校、岩槻商業高校、所沢商業高校、深谷商業高校（エントリー順）の10校19名

実施後の参加生徒のアンケートでは、感想として「とても楽しかった」68.4%、「まあまあ楽しかった」31.6%であった。リテコンの意義については「とても意義がある」73.7%、「まあまあ意義がある」15.8%と好評であった。自由記述でも「他校との競い合いや学び合いが体験できてよかった」や「自分では思いつかないような意見が得られた」など、主体的・対話的で深い学びが進んだ様子も伺えた。一方、「答えがわかっているけどパソコンの操作が上手くできなかった」や「恥ずかしくて答えられなかった」、「自信がなくて答えられなかった」、「ケース問題は、難し過ぎた」

など、高校生の理解度や習熟度を事前にリサーチしておく必要性や、オペレーションの事前説明とトレーニングの必要性という課題も浮き彫りになった。

埼玉県練習大会の実施後、リテコン座談会と称する振り返りを行った。参加者は、浦和商业高校から内田校長、指導教諭、出場した生徒2名、日本販売士協会専務理事、私とゼミ生3名の合計9名であった。座談会の資料としては、埼玉県練習大会実施後の生徒アンケートを用いた。

浦和商业高校生からは「他校とも交流ができたし、何よりも楽しかった」という意見が、ゼミ生からは「クイズだけでマーケティングを学ぶことはできないが、学びを進めるきっかけになってもらえればと思う」という意見が寄せられた。

(2) リテコン関東地区練習大会の実施

令和3年2月12日(金)に実施を計画していた関東地区の練習大会であるが、コロナ禍における緊急事態宣言の発出により、先も全く読めなくなり延期とせざるを得なかった。

その後、コロナの状況が以前よりは良くなり、6月18日(金)に埼玉県から関東地方へと規模を拡大した念願のリテコン関東地区練習大会を開催できる運びとなった。この頃には、さんフェア埼玉2021におけるリテコンは参集形式ではなく、オンライン形式の一本化で開催することが確定していた。以下は、リテコン関東地区練習大会の概要である。

【リテコン関東地区練習大会の概要】

- 1 日時：
令和3年6月18日(金) 15時50分～17時
- 2 接続練習会(オンライン)
6月11日(金)の15時50分～17時

【出場校一覧】

熊谷商業高校、岩槻商業高校、所沢商業高校、浦和商业高校、大宮商業高校、深谷商業高校、新座総合技術高校(以上、埼玉県立)、東京都立千早高校、千葉県立君津商業高校(9校18名)

埼玉県練習大会の評価・改善を踏まえて、関東地区練習大会ではクイズそのものに専念できるように、オペレーションに関する事前接続練習会を行った。接続練習会では、Zoomアプリの使用方

法について、ゼミ生が説明を行った。オンライン形式でよくある障害のハウリング対策や、チーム問題とケース問題で使用するZoomアプリのブレイクアウトルーム機能(グループごとに個室で会話する機能)についての説明と体験が行われた。また、クイズの出題方法や解答方法についての説明も行われた。

練習大会実施後のアンケートでは、参加後の感想として「とても楽しかった」75.0%、「まあまあ楽しかった」25.0%、リテコンの意義について「とても意義がある」68.8%、「まあまあ意義がある」25.0%と、埼玉県の練習大会と同様に概ね好評であった。アンケートにおける自由記述では、事前に接続練習会を行ったこともあり、オペレーションで困ったという記述が大幅に減った。加えて、コロナ禍の中でICT利用が進み、高校生や教員のICTスキルが向上したことも影響したと推察される。また、ゼミ生からの要望により新たに追加した設問「クイズの解説はわかりやすかったか」については、93.8%の参加者が「とてもわかりやすかった」と回答してくれた。

(3) さんフェア埼玉2021の実施

令和3年10月30日(土)、いよいよ2年間にわたる研究・実践の成果発表の場である、さんフェア埼玉2021において全国商業高校生リテコンが開催された。

【全国商業高校生リテコンの出場校一覧】

北海道函館商業高校、青森県立八戸商業高校、岩手県立宮古商工高校、石川県立大聖寺実業高校、栃木県立宇都宮商業高校、千葉県立君津商業高校、東京都立芝商業高校、東京都立千早高校、岡山県立岡山南高校、香川県立高松商業高校、沖縄県立名護商工高校、(以下、埼玉県立)大宮商業高校、岩槻商業高校、新座総合技術高校、深谷商業高校、浦和商业高校(16校・36名参加)

リテコンでは、早押し問題で知識・技能の習得の度合いを競う。これは、よくあるクイズ大会の一場面である。しかし、リテコンではそれに留まらず、「なぜ、その解答を選んだのか」、「なぜ別な解答を選ばなかったのか」などについて問い、解答後には詳しい解説を加える。さらに、チーム問題やケース問題を通じて、思考力・判断力・表

現力等の育成や、主体的に多様な人々と協働する力を涵養する話し合いや議論を行う。この一連の取組は、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現する探究的な学びへとつながっていく。

設問：リテコン参加前後の気持ち

	前	後
とても楽しそう (とても楽しかった)	29.4%	58.1%
まあまあ楽しそう (まあまあ楽しかった)	67.6%	41.9%
あまり楽しそうでない (あまり楽しくなかった)	2.9%	0.0%
全く楽しそうでない (全く楽しくなかった)	0.0%	0.0%

設問：リテコンの意義

	前	後
とても意義がある	32.4%	64.5%
まあまあ意義がある	67.6%	35.5%
あまり意義がない	0.0%	0.0%
全く意義がない	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%

表1 実施前後アンケートの主な結果

3. リテコンの可能性のさらなる追求

さんフェア埼玉 2021 のリテコンに取り組んでいた私は、リテコンに関する研究と実践の往還を一過性のものにしてはならないと考え始めていた。そこで、内田校長に「埼玉発商業教育モデルの創設」という胸の内を吐露してみた。内田校長も同様の考えであり、さんフェア埼玉 2021 後にその振り返りを行いながら次の取組を考えることとなった。

埼玉発商業教育モデルにおけるリテコンの仕組みや組織については内田校長が、リテコンの精緻化については私が担当することとなった。

令和4年度の取組としては、研究と実践の発表の場として、埼玉県教育委員会が主催する第32回埼玉県産業教育フェア（11月12日〔土〕、ソニックシティ）を設定した。この一つのゴールイメージに向けて、リテコンの仕組み・組織づくりやリテコンの精緻化を進めていくことにした。

(1) 「リテコンソーシアム in 埼玉」の立ち上げ

内田校長担当のリテコンの仕組み・組織づくりは、「リテコンソーシアム in 埼玉」の仕組みと組織づくりによって進められている。

リテコンソーシアム in 埼玉 設置要項

- 1 目的
リテールマーケティング・コンテストを活用した商業教育モデルの形成
- 2 事業
 - (1) リテコンの企画・開催・運営
 - (2) リテコンによる商業教育モデルの形成・評価・改善
 - (3) リテコンによる商業教育モデルの普及・拡大
 - (4) その他、本コンソーシアムの目的を達成するために必要な事業
- 3 構成
 - (1) 連携団体
 日本大学商学部岸本ゼミナール
 一般社団法人日本販売士協会
 埼玉県立深谷商業高等学校
 埼玉県立浦和商業高等学校（事務局）
 - (2) その他の構成団体
- 4 リテコン
 年1回以上開催し、その一つの間を埼玉県産業教育フェア（埼玉県教育委員会主催）とする。
- 5 理事会
 - (1) 理事は各連携団体から1名ずつ選出し、互選により理事長を選出する。
 - (2) 理事長は、副理事長を選任する。事務局長は浦和商業高校長とする。
 - (3) 理事会は年1回以上開催し、事業計画、事業報告、リテコン開催計画等を審議する。
 ※令和4年4月1日施行（要点抜粋）

リテコンソーシアム in 埼玉について、その趣旨に賛同する埼玉県内の商業に関する学科を設置している高等学校（商業関係高等学校）に周知・普及を図るため、埼玉県教育委員会が導入している Google Workspace for Education の仕組みを活用して、Google Classroom 上に「リテコンソーシアム in 埼玉」を設置することとした。

本ルームは、埼玉県内の商業関係高等学校の商業科教員を対象に、以下の4つのトピックから構成されている。特に、4つ目のトピック「リテコン広場」が本ルームの目玉である。

「リテコンソーシアム in 埼玉」のトピック

- 1 設置要項等
 コンソーシアム設置要項や日本商業教育学会本部助成研究の説明

- 2 リテコンの紹介
過去に実施したリテコン様子を動画で紹介
- 3 リテコンNow!
リテコンに関する最新情報(次回開催予定・募集要項・研究情報など)を掲載
- 4 リテコン広場
リテコン向けの学習教材や授業において活用できる指導教材を提供(岸本ゼミ作成)

さんフェア埼玉 2021 におけるリテコンの取組は、一部の学校・教員・生徒に偏っていた。商業の体系的・系統的な学びに不可欠な要素となるマーケティング教育の普及には、多くの商業関係高等学校や商業科教員、そして商業を学ぶ生徒を巻き込んでいく仕組みや仕掛けが必要である。「リテコン広場」においてマーケティングに関する学習教材や指導教材を提供することにより、リテコンを頂点とするマーケティング教育に多くの人たち(教員・生徒)が関与していくことが期待できる(図1)。

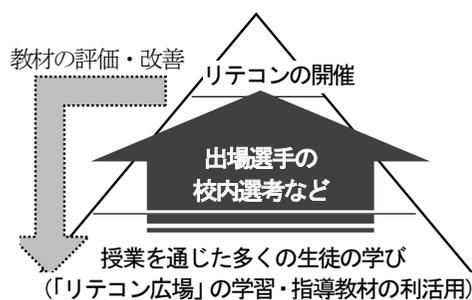


図1 リテコンを頂点とするマーケティング教育・学びピラミッド

なお、「リテコン広場」に掲載するマーケティングに関する学習教材や指導教材については、リテコン出場に向けた学びの推進に寄与する内容としている。加えて、学習指導要領が目指す3つの資質・能力である、知識・技能や思考力・判断力・表現力等、そして、学びへの主体的な態度を育成・涵養する内容を提案・提供していく。そして、その教材を用いる教授方法や学習方法には、主体的・対話的で深い学びや探究活動の考え方や手法が織り込まれている。

(2) リテコンの精緻化

リテコンの精緻化を担当する私は、内田校長より、浦和商业高校を研究・実践の場として提供い

ただいている。本研究・実践の糸口として、浦和商业高校において、岸本ゼミの学生による授業を実施した。内容は、インスタ・マーチャンダイジングに関する理論とその実習授業であった。この授業実践を通じて、商業高校生のマーケティングに関する知識の習得状況や学びへの取組状況などを把握して、リテコンの教材や問題づくりに活かそうとするものである。

さらに、この授業の発展型として、9月以降に、POSデータを活用したデータ分析演習の実施や、そのまとめ・表現としてのグループ発表授業も計画している。

(3) リテコン@埼玉県産業教育フェアの開催

本稿執筆時点(6月)ではあるが、今後の研究・実践については以下のように計画している。

リテコン@埼玉県産業教育フェアまでの予定

- 6月初旬～ リテコン参加校募集
- 7月初旬 リテコン参加校申込締切
- 8月1日(月)
リテコン練習会@浦和商业高校
(コロナ禍の状況によってはオンライン開催)
- 11月12日(土)埼玉県産業教育フェア
(コロナ禍の状況によってはオンライン開催)

4. おわりに

本取組の成果は、日本商業教育学会の令和5年度全国大会において、学会助成研究として発表する予定である。その研究テーマは、「リテールマーケティング・コンテストを活用した商業教育モデルの形成について～リテコンソーシアムの創設と運営による『主体的・対話的で深い学び』の推進～」である。

本稿で論じてきたこの一連の研究と実践の往還が、商業関係高等学校の商業教育の発展に結びつき、さらに商業を学ぶ生徒の学力向上に少しでも貢献できること切望している。